広島大学大学院文学研究科附属内海文化研究施設

第41回 季例会・公開講演会

県立広島大学宮島学センターの取組について

歌川広重（二代）「諸国名所百景安芸宮島汐干」安政６年（1859）
〔宮島学センター所蔵〕

平成30年

日時： 3月 5日 月

13:30～15:30

場所： 文学研究科（文学部）
B104講義室

講師： 県立広島大学宮島学センター
助教 大知徳子氏

無料

【概要】
県立広島大学は、文部科学省・現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代ＧＰ）「学生参加による世界遺産宮島の活性化―学生が宮島の魅力を発見し、発信する―」（平成18～20年度）の成果を継承・発展させるために、平成21年４月に宮島学センターを設置しました。日本史、日本文化史、日本文学、英文学、中国文学等を専門とする教員が協力して、世界文化遺産「厳島神社」を有する宮島の歴史や文化について学術研究（宮島学）をおこない、学生教育・地域連携活動を推進しています。まもなく設立10年目を迎える本センターの具体的な取組内容と主な研究成果について、センター所蔵の資料をご覧いただきながら、ご紹介します。